# 令和7年度（2025年度）北海道防災総合訓練（第1回）

○ **目　的**

北海道地域防災計画に基づき、北海道、防災関係機関、関係市町村の共同により、大規模な地震・津波災害を想定した訓練を実動で行うことにより、災害時における応急対策活動能力の向上を図り、北海道の災害対応力を強化することを目的とする。

○ **訓練日程・主要会場**

令和7年8月27日（水）　島牧村、倶知安町、共和町、岩内町、泊村、神恵内村

○ **主催等**

●主　催　北海道防災会議　　●共　催　後志総合振興局管内20市町村

○ **訓練内容**

1　訓練想定　　北海道南西沖の巨大地震に伴い、日本海沿岸地域に大津波が発生

2　訓練実施項目

■　情報伝達訓練
- ○防災情報システム等複数の伝達手段を用いた市町村への情報伝達・共有
- ○各種手段（防災無線、エリアメール等）を活用した住民への情報伝達
- ○臨時災害放送局による避難所情報の発信

■　住民避難訓練
- ○高齢者や車いす使用者など避難行動要支援者への避難支援

■　避難所運営訓練
- ○高齢者等避難行動要支援者の受け入れ要領
- ○避難所運営支援システムを活用した受付要領の習得
- ○防災講話
  - 「島牧の特性を踏まえた逃げるまでと逃げてからを意識する災害対策」
    講師　日本赤十字北海道看護大学　教授　根本昌宏　（島牧村会場）
  - 「北海道の自然災害　報道の現場から」（オンラインによる）
    講師　北海道文化放送　気象予報士　菅井貴子　（蘭越町会場）
  - 「奥尻町における防災推進プロジェクト～島の経験を子供の未来へ」
    講師　奥尻島津波語り部隊　竹田　彰　（岩内町会場）
- ○関係機関による展示・説明、段ボールベッドの組立等

■　広域避難訓練
- ○沿岸村（神恵内村、泊村、島牧村）から内陸部の町（共和町、倶知安町）へのバス等による住民移送
- ○受け入れ町における避難所の開設・運営、段ボールベッド組立等
- ○防災講話
  - 「避難所運営における自治体職員としての心構え」
    講師　北海道防災士会　事務局長　横内　春三　（共和町会場）
  - 「日本海側の地震と津波について」「防災気象情報で安全なうちに避難」
    講師　札幌管区気象台　榎本　弘、　齋藤　千秋　（倶知安町会場）

■　救出救助訓練
- ○関係機関（自衛隊、道警、消防等）の連携による要救助者の救助・空輸
- ○ヘリ及びドローンの運航調整要領の習得

■　医療搬送訓練
- ○関係機関ヘリから救急車への患者の引き継ぎ及び拠点病院への搬送

■　情報収集訓練
- ○ヘリ及びドローンによる情報収集要領及び映像の授受

■　物資輸送訓練
- ○ヘリ及びドローンを活用した孤立地域への支援物資の輸送
- ○民間トラックを活用した被災地への支援物資の輸送
- ○新物資システム（B－PLo）の活用

○ **参加機関等**　　計60　団体（うち市町村　20団体）　　約　550名

【北海道（1）】

総務部危機対策局、経済部AI・DX推進局、保健福祉部（総務課、地域医療推進局、福祉局）
北海道立動物愛護センター、後志総合振興局

【訓練参加市町村（20）】

後志総合振興局管内全市町村

【北海道防災会議構成機関（16）】

北海道総合通信局、北海道開発局、気象庁（札幌管区気象台）、第一管区海上保安本部、陸・海自衛隊、北海道警察、NTT東日本株式会社北海道事業部、ソフトバンク株式会社、一般社団法人北海道薬剤師会、北海道電力ネットワーク株式会社、KDDI株式会社北海道総支社、株式会社NTTドコモ北海道支社、公益社団法人北海道トラック協会、公益社団法人北海道看護協会、一般社団法人北海道バス協会

【災害時協定締結企業等・その他協力機関（23）】

島牧村立島牧中学校、岩内郡漁業協同組合、羊蹄山ろく消防組合、岩内・寿都地方消防組合、日本コミュニティ放送協会北海道地区協議会、一般社団法人日本産業・医療ガス協会北海道地域本部、北海道災害リハビリテーション推進協議会、公益社団法人北海道国際交流・協力総合センター、一般社団法人日本建設機械レンタル協会、アキレス株式会社、イオン北海道株式会社、新成物産株式会社、株式会社セコマ、株式会社ムラカミ、楽天モバイル株式会社、Gcomホールディングス株式会社、日本セイフティー株式会社、全日本ロータス同友会北海道ブロック、北海道キッチンカー協会、株式会社YellowBuck、一般社団法人日本UAS産業振興協議会（株式会社mmガード、株式会社レンタコム北海道）北海道ドローン協会（株式会社HELICAM、株式会社ドリームベース、株式会社池添商事）

※上記については、主要会場において協力いただいた機関を掲載

○ **参加者の声（主要会場におけるアンケート集計結果）**

■　全般
- ・ほぼ全ての参加者が本訓練により防災意識が向上したと述べている。
- ・今後も同様な訓練がある際は、是非参加したいとの意見が多く見られた。

■　訓練に参加して最も印象に残ったこと

1：非常食の加熱法　2：災害用トイレの使用法　3：防災講話　4：防災物品の展示

■　今後訓練に取り入れて欲しい事項

1：ペット同伴避難訓練　2：宿泊訓練　3：救急法（AEDの使用等）

■　その他自由意見（抜粋）
- ・このような大きな訓練は初めてなので参加して良かった。
- ・避難訓練や段ボールベッド訓練はやったことがあるが、避難所の中がどうなっているか知ることができた。
- ・災害は「いつ起きるか分からない」という意識を高めることができた。
- ・避難所での生活を強いられた場合の課題となる点や、役割について考える機会になりとても勉強になった。
- ・TKB＋Wの大切さを写真や実際の被災地の話や実証実験でのお話からご講話していただき、自分ごととして考えることができた。
- ・災害対策において、備え（準備）がいかに大切なのかを改めて知る機会となった。
- ・最先端のテクノロジー、おいしい非常食や炊き出しなど、防災・避難に対するイメージが、がらりと変わった。
- ・「訓練」というと敷居が高く感じるので、「防災フェア」など名前を馴染みやすいものに変えてみてはいかがか。

# 令和7年度（2025年度）北海道防災総合訓練（第1回）の主な様子（主要会場）

## 避難所運営訓練：島牧中学校

システムを活用した受付

有識者による防災講話

段ボールベッドの組立

防災物品等の研修

簡易トイレの使用法

非常食の加熱

## 救出救助・ドローンに係る調整：倶知安公民館

関係機関による調整活動

Starlinkを活用した映像のモニタリンク

## 救出救助・医療救護訓練：神恵内村、倶知安町

患者の搬送

ヘリからの患者の搬出

ヘリからの患者の搬出

救急車への搬入

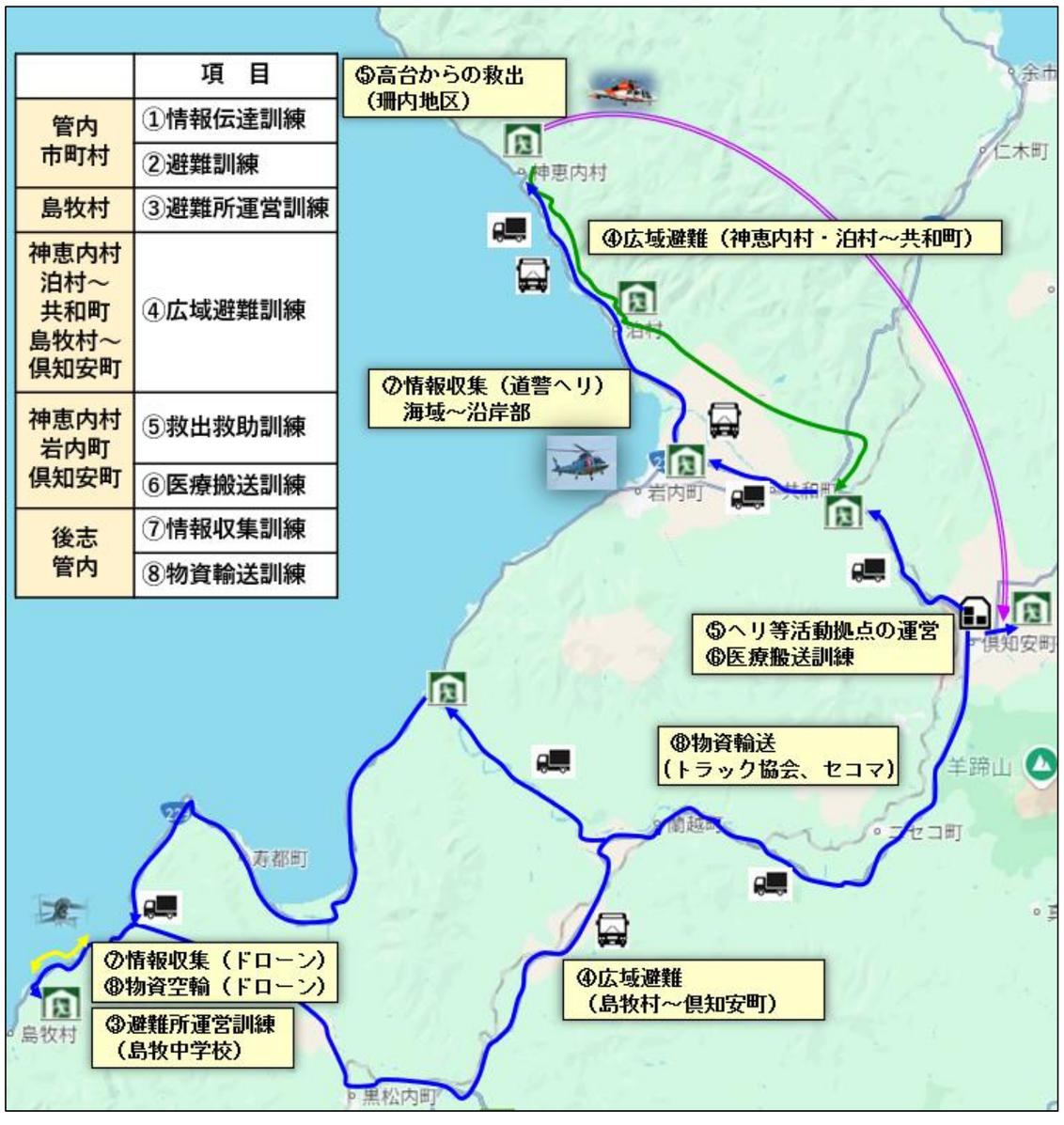
## 広域避難訓練：① 神恵内村、泊村～共和町（町民会館）② 島牧村～倶知安町（総合

バスを活用した広域避難

避難先における防災講話（共和町）

避難先での避難所開設（倶知安町）

| | 項　目 |
|---|---|
| 管内市町村 | ①情報伝達訓練 |
| | ②避難訓練 |
| 島牧村 | ③避難所運営訓練 |
| 神恵内村 泊村～共和町 島牧村～倶知安町 | ④広域避難訓練 |
| 神恵内村 岩内町 倶知安町 | ⑤救出救助訓練 |
| | ⑥医療搬送訓練 |
| 後志管内 | ⑦情報収集訓練 |
| | ⑧物資輸送訓練 |




## 避難所運営訓練：　岩内町、　蘭越町

要配慮者避難（岩内町）

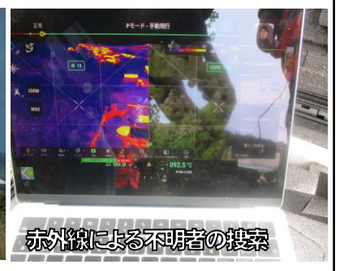
防災講話（蘭越町）

## 情報収集訓練：島牧村

被害情報の把握

ドローンによる空撮映像

遠隔操作による離発着


赤外線による不明者の捜索

## 物資輸送訓練：後志管内、島牧村

トラックへの支援物資の積載

各避難所での支援物資の荷下ろし

医療カスの搬入手続き

ドローンによる物資輸送